

学校だより

東

雲

(しのめ)



八戸市立東中学校

Tel 31-3170 31-3180

Fax 32-1130

http://hachinohe.ed.jp/higasi_j/

◇◇ 共育86 ◇◇

(「共育」:皆さんと「共に育む」の意味です。)

「社会的意義が実感できる教育」を学校経営の基底に据えて

平成23年4月11日 校長 戸来忠雄

「学校って何だろう」「生きるってどういうことだろう」「学ぶってどういう意味があるのだろうか」。教員の道を歩み始めて間もない時から、私の脳裏をかすめ始めた自問です。これらについて、授業・行事・部活動等、教育活動全般の様々な場面で、保護者の皆さんも含めてその都度一緒に考えていきたいと思っております。

さて、平成元年度に生まれた東中も、時代時代に紆余曲折はあったものと思いますが、昨年度の学校評価等から考察しますと、前校長の小野寺實先生の優れたリーダーシップのもと、学校目標達成に迫る教育活動が展開され、それは子どもたちの力や姿として着実に表れたのではないのでしょうか。したがって、平成23年度は、昨年度の学校経営方針を基本的に踏襲し、さらなる前進を図っていききたいと思っておりますが、冒頭に述べた問いかけに関わり、この複雑化する現実社会を生きていく力を身につけるために、自分には東中の教育が必要だという実感を生徒にもたせたいと考えます。そこで、学校でのさまざまな活動や指導の場面では、「社会的意義が実感できる教育」を基底に据え、学ぶ意味や生きる意味を考えながら、自己を生かし、伸ばす自分づくりに努めさせる教育にあたっていきたいと考えております。保護者の皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

入学式の「式辞」より抜粋

新入生の皆さん、入学おめでとう。心より皆さんの入学を歓迎し、そしてお祝いします。新しい中学校生活を前にして、正直不安はあると思いますが、「よし頑張るぞ」という今の気持ちを3年間持ち続け、人間として大きく成長してくれることを期待しています。

さて、本日の入学式にあたり、二つのことを皆さんにお話しします。

一点目は、「自ら学ぶ力を身につける」ということです。勉強でも、スポーツでも、生徒会活動でも、自ら具体的な

目標を掲げ、挑戦することが大事です。ただ、どんな人間でも目標に向かって進むとすると、必ず困難や苦しさに出ぶつかるものです。ですから中学校生活は必ずしも楽しい時ばかりではありません。苦しい、つらい、厳しいと思うこともあると思います。そんな時でも、すぐに逃げ出してはいけません。困難を乗り越えるための手立ては、きっとどこかにあります。それは自分の意志と努力によってのみ見いだされます。その意志と努力こそ「自ら学ぶ力」となります。壁にぶつかった時こそ、自分を成長させるチャンスとと思ってください。



新入生認証 [石倉康佑くん]

二点目は「社会力を身につける」ということです。それはまず、良き習慣をしっかりと身につけることから始まります。学校は自分を鍛える場です。2年生・3年生の先輩達もこの東中に入学した時から継続して取り組んでいる生活習慣が5つあります。一つ「朝、自分の力で起きる」二つ「挨拶と返事をしっかりする」三つ「履き物を揃え、大事にする」四つ「継続して人のために何か尽くす」五つ「歩いて登校する」この実践は今年度も全校態勢で取り組みますが、大事なことは、やらされるのではなく、自分が社会の一員として生きるための基礎となる力を、自分自身のために自ら培うという点です。つい意志の弱さにくじけそうになる時も、東中生全員で取り組んでいる実践であることを思い出しながら継続に努めてください。自分たちの学校を自分たちの手でより良いものにしていくという気持ちで、この5つの実践をよき習慣として身につけていきましょう。

以上、「自ら学ぶ力を身につけること」「社会力を身につけること」、この二点を明日からしっかり実践してください。

今、東中はプラスのエネルギーに満ちあふれています。こうして全校生徒が生き生きと生活できるようになったのは、卒業生と今ここにいる在校生の努力はもちろんですが、保護者のご理解とご支援、地域や小学校との連携・協力によるものと思います。そして、皆さんの入学を楽しみにしていた2年生・3年生もきっと先輩として、良き模範を行動で示してくれることと思います。

学校は頭と体だけではなく、心も鍛える場です。文武両道にわたり心身を鍛え、将来の八戸を担う人間に育ててほしいと願います。新入生の皆さん、2年生・3年生と一緒に、東中学校をさらにすばらしい学校にしていきたいと思います。

新入生代表「誓いの言葉」より抜粋

喜びに満ちた今日の晴れの日ですが私達の胸には、消し去ることのできない悲しみがあります。3月11日に、東北地方をおそった東日本大震災では非常に多くの尊い命が失われ、1か月たった今でも、多くの方々が避難生活を強いられています。その中には、私達と同じように、この春、希望を胸に中学校の門をくぐるはずだった多くの同年代の仲間達がいると聞きました。私達は今日、皆様に祝福されて、この時を迎えることが出来たことに深く感謝し、より一層、東北、そして日本の再建に役立つことのできる立派な大人になれるよう努力していきたいと思っています。



誓いの言葉 [長岡 舞さん]

今はまだ、これから始まる中学校生活への漠然とした希望と不安が、私の中で入り混じっています。それは、今までよりも少し大人として見られる嬉しさと、「小学生のような甘えは許されないぞ。」という身の引き締まる思いでもあります。

これから3年間の中学校生活の中で、私達新入生一同は、東中学校の生徒としての自覚と誇りを持ち、共に支え合い、励まし合って、良き伝統を守っていけるよう精一杯努力していきたいと思っています。

そして、大震災のこの年に、無事に中学校へ入学できた事に感謝し、人を思いやる気持ちを忘れず、また、自分の可能性を信じて、困難な事にも、常に前向きにチャレンジし続けることを、ここに誓います。(新入生代表 長岡 舞)

平成23年度の東中学校は、生徒481名、教職員31名、合計512名で4月7日にスタートしました。心を磨いて文武両道をやり抜く学校を目指して、心をつないで頑張りたいと思います。